

「2025年度岡山市予算編成要求書」のうち市長重点事項(抜粋)

1 暮らし優先のお金の使い方への転換をめざして

- (1) 市として事業を改めて精査し、中止、凍結、延期、事業規模縮小などの見直しを行って、暮らしを支える財源をつくり出すこと。
- ①公費でのアリーナ整備は行わないこと。
 - ②路面電車の岡山駅前広場乗入は中止すること。
 - ③吉備線LRT化の協議から撤退すること。

2 物価・エネルギー価格等の高騰から市民生活を守るために

- (2) 中小企業・個人事業主等に対して多面的・継続的に支援を強化すること。
- ①市内中小企業の賃上げにつながる直接支援を市として行うこと。

4 福祉施策・制度の前進を

- (2) 国民健康保険は、安心して医療を受けられる制度にすること。
- ①一般会計からの政策的繰入を行うなどして、払える保険料に引き下げること。
- (3) 後期高齢者医療保険料を値上げしないこと。
- (6) 生活保護について
- ③a) 近年の酷暑を踏まえ、他自治体の事例に倣って、エアコン設置費用を補助すること。

5 水道事業の持続可能な発展のために

- (1) 水道事業について
- ①水道管路や施設の更新・耐震化を抜本的に加速すること。そのために、一般会計から費用を支出すること。国に対しても、公営企業法の改正を含め公費で支えられる仕組みづくりをすること及び財政支援を求めること。
 - ②これ以上の料金値上げを行わないこと。
 - ③低所得世帯や医療機関・福祉施設等に対して、減免や補助の制度を導入すること。
- (2) 苫田ダムと県広域水道企業団について
- ①固定的に毎年23億円支払っている受水費について、岡山市の契約水量（基本水量、責任水量）や企業団全体の水需要計画の見直しを求めること。
 - ②企業団が2期計画を中止できるよう、条件整備を国や県に求めること。

6 子どもの健やかな成長のために

- (1) 「こどもまんなか社会」の実現をめざして
- ①子どもの権利保障の実効性確保のために、子どもにとって、相談でき、思いを代弁し、

権利救済する役割や、行政を監視・評価する等の役割を持つ独立した第三者機関を設置すること。

- ③子どもに関係する政策の立案に際しては、子どもの声を積極的に聞く仕組みを構築すること。
- ④公園等について、子どもから遊べないとの声が上がっている現状に鑑み、トイレの洋式化やボール遊びができるネット設置等を進めること。恒常的な清掃や草刈りなどについても、地域の実情に応じて市が直接行うこと。
- ⑤ a) 給付型奨学金は、低所得対策にとどまらず、対象及び額を拡充すること。

(2) 就学前教育・保育について

- ⑥年度途中の入園を円滑に行えるよう、年度当初から定員分の保育士を確保する私立園に対し、他市事例を参考に人件費分を補助すること。(広島市の「定員払い制度」)

7 子どもたちの育ちと学びを支える学校を

(2) 学校給食について

- ①学校給食は、義務教育無償の大原則に基づき無償化すること。少なくとも、この間の物価高騰分は市が負担し値上げしないようにすること。文部科学省も自治体負担が望ましいとしている燃料代は、恒久的に市負担とすること。

9 住民本位のまちづくり、交通政策の推進を

(5) 公共交通について

- ①交通政策について
 - a) 市民の移動権を守る立場に立ち、交通不便地域の20万人を解消していく政策と計画を立てること。スケジュールを具体化したアクションプランも立てること。
 - b) 自動車分担率を下げる数値目標を立てること。

10 自然・生活環境を守っていくために

(3) 「再エネ100宣言 RE Action」の実現をめざして

- ②全体として電力の自給自足ができるよう、全ての市有施設に再生可能エネルギー発電設備を設置すること。全庁的な指針を示し、導入計画を立てること。

(17) PFAS問題について

- ①水質検査を、回数を増やして行うこと。県とも必要に応じて連携を強化すること。
- ②影響と原因を把握するために、水と土壌の調査個所を増やすこと。

12 岡山市の行政のあり方について

(3) 平和の課題に対する市の取り組みについて

- ②自衛隊の軍備が増強され実戦訓練が増えているもとの、市民向け行事等においても武器(地对空ミサイル等)の展示が行われている現状に鑑み、市主催または市有施設を使用するの行事において、自衛隊の出席を認めないようにすること。

以上